

麦の穂

特集

求められるリハビリテーションの

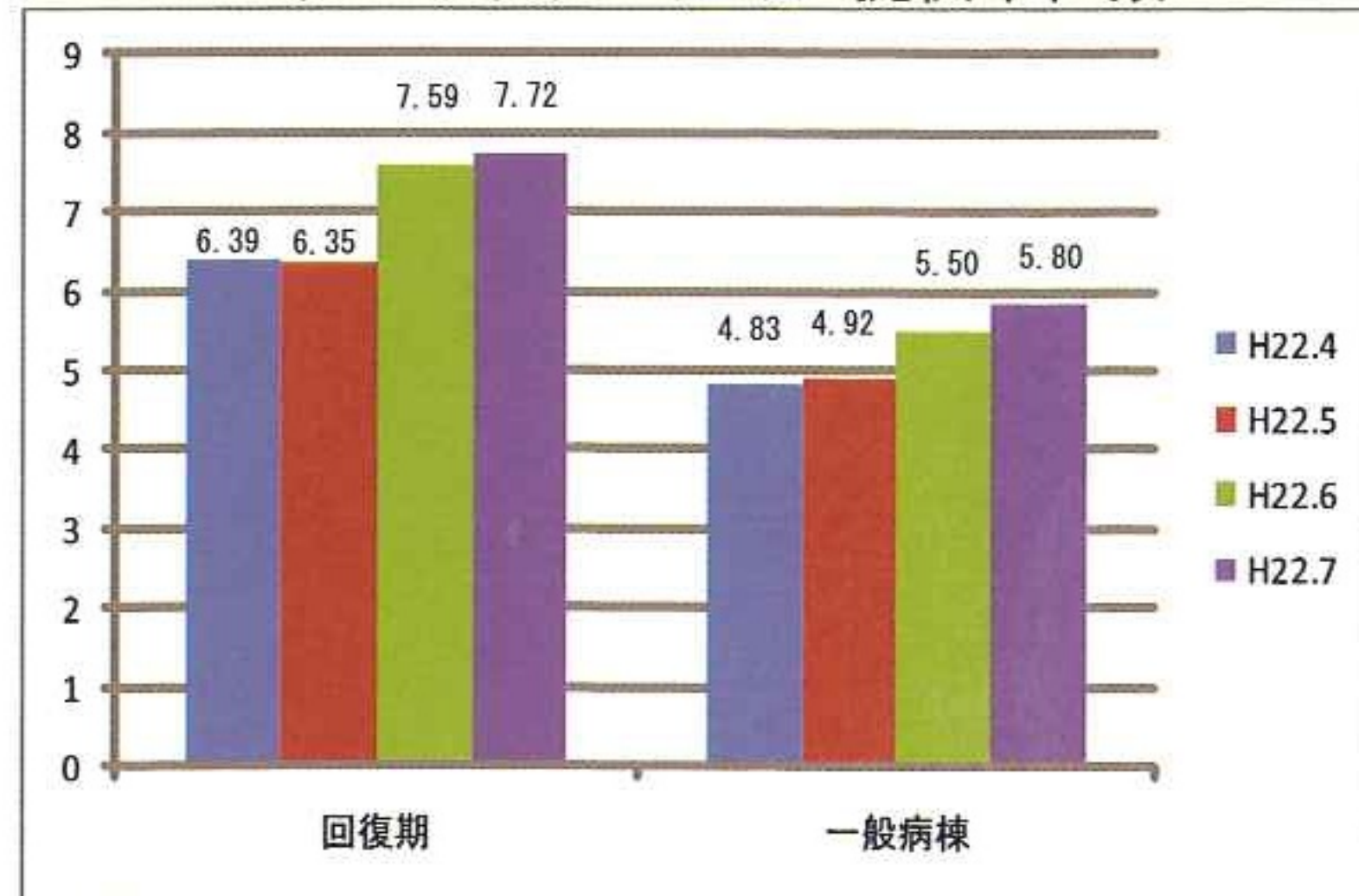
提供を目指して

当院リハビリテーションの

急性期から維持期まで

当院は広島市西区で唯一の脳神経外科専門病院であり、急性期から回復期、維持期と幅広く、脳血管疾患の方を支援する体制を整えています。近年、早期リハビリテーション（以下リハビリ）の重要性が示唆されていますが、当院でも発症・受傷日より、急性期リハビリを開始することも少なくありません。早期リハビリの必要性は様々ですが、臥床期間が長期化することで、使わないことによる心肺機能や筋力の低下など廃用症候群を引き起こします。そのような状態を予防するために、早期より活動するための支援を行っています。活動する時間が長いほど、廃用症候群を予防することができ、当院では回復期同様、急性期リハビリにおいても一日平均5.5単位（2時間弱：平成二十二年六月）実施しています。

1日当たり
リハビリテーション提供単位数



回復期リハビリ病棟の動向

平成二十二年四月の診療報酬改訂で新設された「回復期リハビリテーション病棟」により、本のリハビリ医療に急性期・回復期・維持期の流れが概ね確立されました。その中で、要となる役割を与えられたのが当病棟です。

回復期リハビリとは、発症一ヶ月を目処とした急性期リハビリの後、疾患管理に留意しつつ、能動的で多彩な訓練を中心とするリハビリのことを指します。

とするリハビリのことを指します。平成二十二年三月三十一日現在で、1033病院、1285病棟、5万7082病床が承認（全国回復期リハビリ病棟連絡協議会調べ）を受け、この病棟を有する病院は、四年前に比べ約1.8倍に増えており、さらに毎月のように新設の届け出があるようです。

質の重視の時代

平成二十年四月の診療報酬制度改定では、各当該病棟の「質を評価」するために、患者様の日常生活の改善度合いを評価することを義務付け、患者様の自宅復帰率（60%以上）や重症患者様の回復率（30%以上）を施設基準承認の要件とされました。さらに、今年度の診療報酬制度改定では、「質の評価の強化」がされ、患者様一人につき一日2単位以上のリハビリを実施することが当該病棟の施設基準承認の最低要件とし、さらに、休日にも実施する施設や、患者様一人に一日6単位（2時間）以上集中してリハビリを実施する施設に対し、加算が認められま

した。

約800施設が加盟する「全国回復期リハビリ病棟連絡協議会」が、脳血管疾患の入院患者様に実施した調査では、「二日当たりのリハビリ時間の長い患者様では退院時の日常生活の動作能力が高く、自宅復帰率も高い傾向があった」と報告されています。また、同協議会長である石川誠氏が「リハビリは土・日曜日、祝日も休み無く、期間を限定して集中して行った方が高い効果が期待できる」と話されているように、近年では365日の施行体制がリハビリ医療の考え方として主流になりつつあり、休日もありリハビリを実施する施設は増えてきています。

質の評価（H20.4 制定）

- ①自宅復帰率：60%以上
- ②重症患者回復率：30%以上
- ③1日のリハビリ実施単位：2単位（40分）以上

+

質の評価の強化（H22.4 制定）

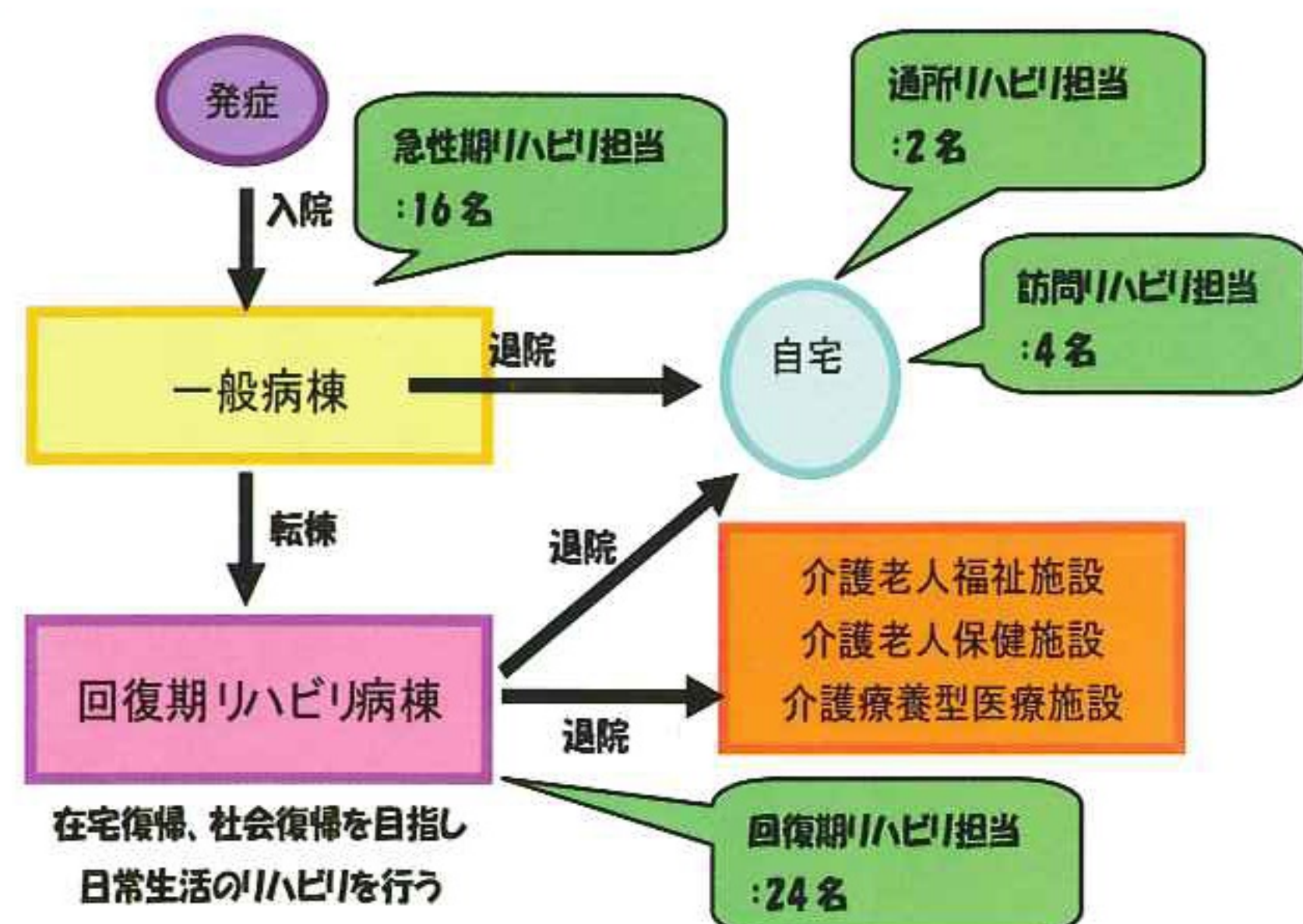
- ④365日リハビリ施行
- ⑤1日のリハビリ実施単位：6単位（2時間）以上

実施単位数が多いということは、より早期での自宅復帰率に繋がることとなります。しかし、365日の施行と一日6単位（2時間）以上のリハビリ提供体制を確保するには、病床数に応じた療法士の配置が必要です。全国平均で、一日の平均リハビリ提供単位数は4.0単位（1時間20分）と報告されており、今回新設された施設基準である「休日リハビリ提供体制加算」や「リハビリ充実加算（一日6単位以上2時間以上のリハビリを実施可能）」の2つの加算要件を満たすことは、容易ではなさそうです。

当院回復期リハビリ病棟の取り組み

当院は開院以来、脳血管疾患の急性期医療を中心に、回復期、維持期まで一貫した治療を行う病院として機能しています。現在では、理学療法士18名、作業療法士19名、言語聴覚士9名の総勢46名の療法士を有する、リハビリ部門に成長しました。回復期リハビリだけでなく、脳血管疾患発症直後の急性期リハビリから、自宅退院された後のフォローとしての訪問リハビリや法人内関連事業所である荒木クリニックでの通所リハビリまで幅広く地域リハビリを

患者様の流れと療法士の配置表



展開しています。46名の療法士は、急性期担当16名、回復期担当24名、訪問担当4名、通所担当2名と配置しています。

昨年の当院回復期リハビリ病棟診療実績から、自宅復帰率は78・0%（上述の連絡協議会平成二十一年調査では全国平均70・9%）、重症患者回復率は65・4%（施設基準30%以上）、回復期リハビリ病棟の平均在院日数89・4日（連絡協議会平成二十一年調査では脳血管障害全国平均90・9日）となっています。この四月から新設された加算要件である「休日のリハビリ提供体制」については、当院回復期リハビリ病棟は昨年

から365日の施行体制を整備しています。又、もう一つ新設された「一日6単位（2時間）以上のリハビリ提供体制」についても、当院回復期リハビリ病棟の平成二十二年六月平均では7.4単位（約2時間30分）と施設基準の加算要件を満たしています。それ以外にも、当院の回復期リハビリ病棟では、患者様お一人毎に専任医師を交えたチームでのカンファレンス実施や、患者様の自宅復帰を見据え、入院中に理学療法士や作業療法士などの専門職が介護支援専門員（ケアマネジャー）等と自宅を訪問し、身体状況に見合った住宅改修のアドバイスをする「家屋調査」も積極的に実施しています。

ご家族と歩行練習



家屋調査

当院回復期リハビリ病棟の取り組み

最後に、当院における当面の課題は、

入院中のリハビリが必要な患者様すべてに、提供単位の最大値である一日9単位（3時間）のリハビリ提供体制の整備であり、これに向けてさらに療法士を増員していく予定です。併せて、ご自宅に戻られてからご利用頂ける、訪問リハビリや通所リハビリにもさらに人員の充実を図り、退院後も安心頂けるフォロー体制を構築していきたいと考えています。質においても、地域の皆様に信頼し、選択頂ける病院を目指して、職員一丸となり日々邁進する所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



レクリエーション

ヘリハビリテーション部 部長 今田直樹

作業療法士

岡本 尚子



「日々学び、患者さんの
力になれるよう頑張ります。」

理学療法士

流田 良治



「患者様のため、日々
笑顔と元気で頑張ります。」

理学療法士

中村 えり



「笑顔を忘れずに」
精一杯頑張ります。
よろしくお願いします。」

理学療法士

小濱 梓



「明るく元気に頑張ります！
声をかけて下さい。」

言語聴覚士

沖元 暁



「自分の技量を深めて
いけるよう頑張ります。」

作業療法士

日宇 康子



「一生懸命やります。
よろしくお願いします。」

作業療法士

安井 芳生



「日々成長できるよう
精一杯頑張ります。」

作業療法士

宮原 瑞貴



「患者様の笑顔を取り戻す
リハビリを提供したい。」

4月より21人の新しい職員が加わり
ました。スタッフ一丸となりよりよい
医療を提供して参ります。

21 人の新しい風

看護師

田村 香織



「たくさんの事を吸収
していきたいです。」

企画推進室

中村 三男



「過去の経験を生かし、
若い皆様方に負けないよう
頑張ります。」

看護師

吉本 智子



「いつも笑顔を
大切に頑張ります。」

看護師

上田 美穂



「限界をもうけない！
心機一転頑張ります。」

看護師

石橋 ちづる



「不安と期待で一杯です。
頑張ります。」

看護師

井上 美奈



「分からないことも多い
ですが、頑張ります。」

庶務課

位田 倫人



「常に向上心を持って
業務に取り組んでいきます。」

看護師

鹿口 諭理保



「フレッシュな
気持ちで頑張ります。」

看護師

古滝 麗子



「『年齢は勉強をあきらめる
言い訳にはならない』
私もしっかり勉強していきます。」

看護師

岡本 正志



「初心を忘れず
頑張ります。」

看護師

山本 真弓



「仕事と学生の両立を
頑張っていきます。」

■ 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に幅広い診療体制で地域医療に貢献します。
- 一、高度な診断・検査機能の提供により、早期発見・早期治療に取り組みます。

■ 運営方針

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

■ 患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います。

1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します。
2. 最善かつ、安全な医療を受ける権利を尊重します。
3. 医療に関して知る権利を尊重します。
4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します。
5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します。

■ 患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります。
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。

外来担当医表

診察時間 午前 9 時～12 時
午後 3 時～6 時
初診受付時間 午前 11 時 30 分迄
午後 5 時 30 分迄

- 当院での診察は予約制となっております
- 救急の場合は 24 時間受け付けております

※1 循環器科

※2 消化器科

※3 形成外科 第 2 水曜日（午前中のみ）月 1 回
平本 道昭（大阪府済生会中津病院 形成外科）

脳神経外科

平成 22 年 8 月 1 日現在

		月	火	水	木	金	土
午 前	初診（1 診）	谷	長 尾	理事長 荒木	院長 沖	長 尾	広 大
	再診（2 診）	理事長 荒木	院長 沖	長 尾	長 尾	谷	谷
	再診（4 診）				理事長 荒木		
午 後	初・再診	院長 沖	谷	広 大	鯉 川	谷	広 大

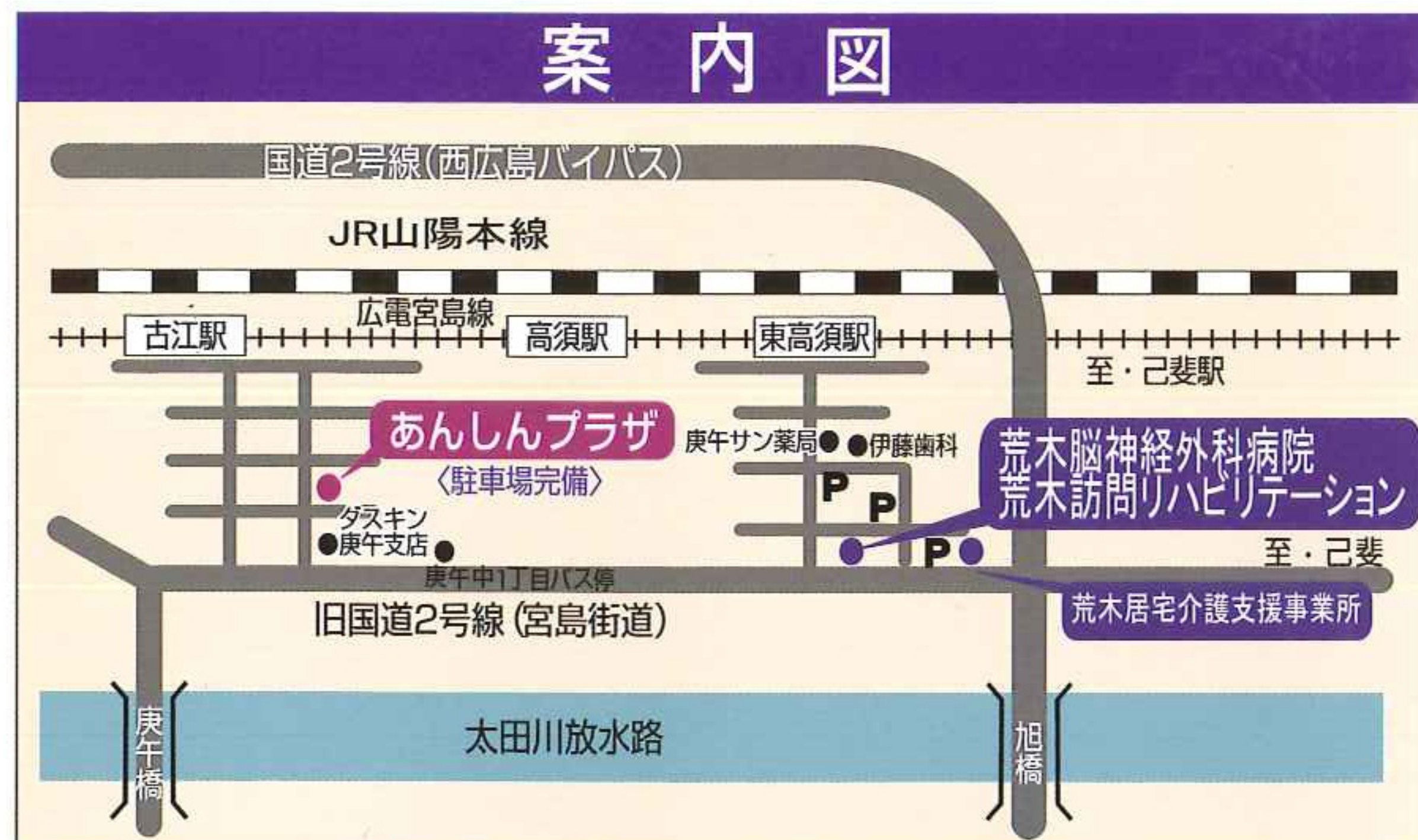
総合診療（内科）

午 前	3 診	*1 野 村		*1 野 村	*1 野 村	*1 野 村	*1 野 村
	4 診		*2 渡 辺				*2 渡 辺
午 後	3 診	*1 野 村			*1 野 村		*1 野 村

形成外科

午 前	4 診			*3 平 本			
-----	-----	--	--	--------	--	--	--

案 内 図



医療法人光臨会

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7
TEL 082-272-1114
FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

TEL 082-527-1123

荒木居宅介護支援事業所

TEL 082-507-6300

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 7-10

あんしんプラザ

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15

荒木クリニック

通所リハビリテーション

TEL 082-507-6100

あんしんホーム

（認知症対応型共同生活介護施設） TEL 082-507-6600

お知らせ

当院副院長長尾が 12 月 1 日より、JR 五日市駅前北口に「ながお脳神経外科クリニック」を開院致します。
今後ともよろしくお願いいたします。

交通案内

- 自動車
西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ 100m（宮島街道沿い）
- 広島電鉄・宮島線
「東高須」下車 徒歩 3 分
- 広島バス 25 号線
「庚午北 2 丁目」バス停前

